



きらり★きくにし

文責 校長 佐藤 正貴

前期後半のスタートに際して

39日間の夏休みが終わり、昨日、前期後半がスタートしました。朝から、元気に登校してくる児童に挨拶をしながら、始まったことを実感しました。

さて、前期後半のスタートにあたり、全校集会を行いました。今回は、前期前半に取り組んだことと、後半に向けての意気込みを5年生の代表児童5名が発表してくれました。努力を続けてできるようになったこと、友だちとの関りが自分の成長につながったこと、人の話をしっかりと聞く、きちんと受け止めることを学校生活で大切にしながら過ごしていくことなどを発表してくれました。5名の児童に共通していたのは、自分の経験やこれから取組を文章で分かりやすく表現することができる素晴らしい力を持っているということです。日々の学びが、確実に児童の成長につながっていることを実感できた発表でした。



もう一つ素晴らしいのは、5年生の話の聞き方と姿勢です。ざわつくこともなく、話し手を見て当たり前のように聞いている姿から、前期前半の自分の姿を思い出して、前期後半に自分自身がどうあるべきなのか考えて、夏休みを過ごしたのではないかと勝手に想像してしまうくらい落ち着いていました。高学年として、頼もしい姿を見せてくれました。

日課変更を試行してみます。

現在、本校の日課は、簡単に申しますと低学年は5時間授業で15時下校、中高学年は6時間授業で16:10下校となっております。

変更の大きな理由は以下のとおりです。

① 個に応じた放課後の時間のゆとり

数年前までは、小学校でも部活動が盛んにおこなわれていましたが、現在部活動は行っておりません。放課後の習い事やスポーツクラブ等で活動している児童も多くなっています。それぞれが、放課後にゆとりを持って活動できるように考えています。

② 安全面での対応

冬にかけて、日没が早くなっています。従来の下校時刻では、下校時刻が遅くなると、薄暗くなってからの帰宅という状況にもなります。年間を通して、明るい内に帰宅できる時間にするべきだと考えています。また、夏場は、空調があるとはいえ、児童は学校で一杯活動しています。放課後にゆとりがあることで、家庭でゆっくりできる時間がてきて、次の日の充実した活動につながると考えています。

詳しくは、昨日安心安全メールで配信をしておりますので、ご確認いただきますようにお願いします。

なお、試行は後期開始である10月16日からです。

タブレットの使い方

1年生でタブレットを使って学習をしようとすると、「先生～・・・」という子どもの声が途切れることなく続きます。担任一人での対応は、とても難しいです。

夏休み前に、1年生の教室を見てみると、体の大きい子どもが1年生と一緒に活動している姿がありました。



6年生が、1年生にタブレットの使い方のイロハについて、それはもう丁寧に教えていました。1年生の子どもは優しい対応に大喜び、できるようになって大喜び、6年生は自分の指導で、できるようになったことに喜び、担任は、6年生が指導に来てくれたことで大助かりと、三者がwin・win・winの授業でした。